

No.4	団体名	<b>雄飛地区まちづくり委員会</b>	
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 夏祭りプロジェクト事業		
事業概要	雄飛地区内にある川崎山薬師寺で毎年8月の盆踊りに合わせ、境内の一部でバザーを出店し、雄飛地区内外から老若男女多数参加してもらい、地域活性化の相乗効果を図る		
事業費総額(予算)	718,709 円	助成金交付決定額	300,000 円
事業費総額(確定)	340,437 円	助成金額(確定)	226,000 円
主な経費内容	投光器、テント、ポータブルガス発電機、装飾用提灯・LEDライト、備品保管ケース、チラシ印刷代、参加者用光るブレスレット、事務消耗品、備品送料		
<p>●実施内容</p> <p>■「静かな夏祭り」の開催  日時:8月21日(土)・22日(日)19:00~20:00  場所:川崎山薬師寺境内  内容:①地域内事業者へ協賛を募り、表参道・裏参道に提灯40丁を設置  ②小学6年生を対象にペーパーバッグ行燈7丁を作成してもらい、「将来の夢」「今はまっていること」を絵に描いて展示  ③バザーで予定していた光るおもちゃを参加の記念品として来場した子どもに提供</p> <p>&lt;申請時からの変更点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は3世代ふれあい交流の方法としてバザーを計画していたが(早い時期から会場での飲食は取り止める意向であったが、開催直前までゲームの提供や飲食物の持ち帰りを検討)、感染症の拡大を受け接触機会を最小限に留め、おもてなしや輪投げなどの物品を共有するゲームの提供や飲食物の提供を取り止めた。</li> <li>・代替措置とし、ペーパーバッグ行燈や提灯による幻想的な雰囲気を作り、参加者の思い出に残る静かな祭りを実施。</li> <li>・時間を短縮し2日間に分けて開催。</li> </ul> <p>4月4日 コロナ禍での夏祭り開催について、自治会との意見交換会  4月30日 スケジュール確認  5月26日 バザーの内容確認  5月29日 感染拡大による対応協議…規模縮小で提案作成  6月24日 バザー内容を見直し、飲食は中止とし、子ども中心に「静かな夏祭り」検討  7月14日 夏祭りの内容変更を共有  7月中旬 チラシ手配、備品・ゲーム用消耗品の購入  7月下旬 感染拡大により最終案の見直し検討、ゲーム提供を中止・担当者決定  8月10日 夏祭りの最終見直し案での実施を決定  8月21日・22日 夏祭り開催  9月26日 振り返り会議  10月10日・31日 全体振り返り会議</p>			
<p>●事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に連絡する手段がなく途方に暮れたが、那加第二小学校の協力で小学生に連絡をすることができた。</li> <li>・2年連続で中止とするのではなく、知恵を出し合って来年以降につながる催しにしたいという思いに対し賛同者があり、協賛をいただくことができた。やり方や考え方次第で道は開けるといふ希望の灯を示すことができた。次年度につなげたい。</li> </ul>			
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>1. 安全・安心が保たれるまち 2. 三世代が生き活きと共存しているまち 3. 世代間・地域内コミュニケーションが充分にとれているまち 4. 個々の多様性を認め合い、支え合うまち</p>			

